

第3回ローザンヌ世界宣教会議
関東報告会
～宣教の視点から～

2010年11月22日

柳沢 美登里
(声なき者の友の輪)

世界宣教： 変わる事のない究極の目的

- ケープタウン決意表明 10

私たちは神がなさる世界宣教を愛しています

「…聖書のすべては、天にあるもの地にあるものすべてがキリストの下に一つに集められ、キリストの十字架の血によって、和解するように…という神の世界宣教という使命を啓示している」
(抜粋私訳)

⇒ 神の宣教： 宇宙規模で、全てのものが神につながり回復された姿へ

21世紀：深められた宣教の目標

- 今までの目標：

キリストを主と告白する民族、部族、言語グループでの教会数、キリスト者人口増加

- これからの目標 (20世紀の振り返りから)：

すべての面で変革された生き方 (Transformation, Radical Lifestyle) を選び、成長し続ける人・教会 (キリストの体)・町村や都市

ex. 自分の利益を求めない、汚職しない役人

21世紀：世界宣教の主体

- 19-20世紀：

近代宣教の始まり。産業革命、国家体制樹立をし、技術発明、経済力、軍事力に秀でた欧米諸国が主体

強者から弱者へ

- 21世紀： 真のパートナーシップの時代

あらゆる民族、部族、言語グループから、あらゆる民族、部族、言語グループへ

神の導きで相互に派遣と受け入れ

対等な友情関係

21世紀：世界宣教の対象

- 引き続き、専従の伝道者が派遣されず、福音が届いていない民族、部族、言語グループ
- あらゆる民族、言語グループにおいて
貧しい人々、巨大都市の住人、若い世代

21世紀：世界宣教の方策

- 宣教地の人々による**自立的思考・選択の推進**
20世紀の宣教課題（上から下へ）からの学び
キリストにあるアイデンティティの確立のため
- 文化人類学的アプローチ & グローバルと
国レベルの経済変動と経済政策による家族、
社会への影響予測アプローチ
- 21世紀のパートナーシップ：
謙遜 = すべての人と学びあう

グローバル化時代： 日本宣教の可能性

- 福音がもたらすことができるもの（オズ・ギネス師）
「最も公正で自由な人類社会」
- 聖書に聴き、自立的に選ぶことを推進

⇒キリスト者の日本人が、変えられた生き方を真の自由のうちに選び取るとき、待ち望まれた日本人アイデンティティを日本社会に提示する機会に

『自由に人に仕え、地域社会と地球上の人々、
生き物と自然の和解と回復のために行動する、
造られた人間として生きること』推進